

案件化調査

ケニア国 現地茶葉競争力向上支援事業に関する案件化調査

企業・サイト概要

- 提案企業： 落合刃物工業株式会社
- 提案企業所在地： 静岡県菊川市
- サイト・C/P機関： (サイト)ケニア国エンブ県 KTDA Kangaita Tea Farms・
(C/P機関候補) 農業省、農業省食糧局、茶業理事会



ケニア共和国の開発課題

お茶はケニア第3位の外貨獲得産業であり、300万人もの小規模農民が茶生産の約60%を支えている。しかし近年のケニア産茶葉価格低迷が小規模農民の所得向上を妨げている。

そのため、小規模茶葉農民の収入向上に向けたケニア茶葉競争力の向上が同国の開発課題となっている。

中小企業の技術・製品

以下の一連の製茶技術、及びそれら技術を管理、運用するための技術指導

- ① 茶摘み機(乗用、可搬型)、栽培収穫技術
- ② 荒茶製造ライン、多品目製品製造技術、運用管理技術
- ③ 仕上げ機、運用管理技術

調査を通じて提案されているODA事業及び期待される効果

- 普及・実証事業の活用により、小規模茶葉農民に向けた、Ⅰ 生葉の収量最大化と品質安定化を可能とする自動摘採技術の導入、Ⅱ オーソドックス製法を可能とする荒茶製造ライン・仕上げ機の導入、Ⅲ より単価の高い緑茶等の製造を可能とする荒茶製造ラインの導入を実施する。
- 普及・実証事業の実現により、生葉摘採作業の機械化による生産性の向上、機械化による安定した高品質の生茶の摘採、紅茶の中で高級品とされるオーソドックス製法の生産技術の移転、及び、緑茶・ウーロン茶といった紅茶以外の高付加価値茶葉の生産技術の移転が実現される。

日本の中小企業のビジネス展開

- ケニアにおける日本製茶関連技術導入による生産性及び品質向上、製品多種化効果検証。
- 民間茶園業者への製品・サービスパッケージの販売展開。
- 紅茶、緑茶パウダー、抹茶製造ライン等の多品目製品製造技術の販売展開。